

平成 19 年 4 月 6 日一部追加

日本政策投資銀行

(株)アクトシステムズに対し、中国地方初となる「防災格付」融資実施

1. 日本政策投資銀行(総裁:小村武)は、今年度創設された「防災対応促進事業」(防災格付)融資制度に基づき、(株)アクトシステムズ(本社:広島県福山市、社長:桑田昭)に融資を実行いたします。本件は中国地方における第一号案件となります。
2. 「防災対応促進事業」融資制度は、中央防災会議「『防災に対する企業の取組み』自己評価項目表」をベースにした独自の評価システムを構築し、防災に対する取り組みの優れた企業を評価・選定した上、当該企業の防災対策事業に優遇金利で融資を行うという「防災格付」の手法を導入した新しい融資制度です。
3. (株)アクトシステムズは、小売・繊維・医療分野等におけるソフトウェア開発、データ管理(データセンター業務)等を手がける備後地区有数の情報サービス事業者です。近年はICTタグの実用化に向けたソフトウェアの開発に取り組む等、その開発力は高く評価されています。

企業が情報資産の外部管理を進める中で、データ管理者には地震等の災害発生時においても顧客企業のデータを確実に保護し、顧客企業の事業継続を支えるという重要な役割が求められます。同社では、従来より、本社ビル、現データセンターにおいて、法定基準を上回る耐震強度設計、河川の氾濫等を想定したグラウンドレベル引き上げを始めとする防災対策を講じてきましたが、さらに今般、高い耐震強度と免震床を備え、電源・通信・空調等を多重化した新データセンターを福山北産業団地に建設し、現データセンターと相互にバックアップ

を行うことにより、顧客企業の事業継続のため安定稼働できる体制を構築しました。

4. 今般の融資は、(株)アクトシステムズの防災に対する積極的な取り組みを高く評価し、新データセンターの整備資金を対象に実施するものです。当社では、今後ソフト面を中心に防災対策の向上を図る予定にあり、本件対象事業と併せ防災力のさらなる向上を図ることで、顧客企業における事業継続体制の構築に貢献していくことが期待されます。
5. 日本政策投資銀行では、今後とも幅広い業種・地域の企業への「防災対応促進事業」融資制度の活用を通じ、企業の防災への取り組みを積極的に支援・推進して参ります。

<DBJ 防災格付授与式 平成 19 年 4 月 4 日> …平成 19 年 4 月 6 日一部追加



左…株式会社アクトシステムズ 桑田会長、右…DBJ 小林中国支店長

以上
